

議会報告会 実施報告書

実施日時	①令和6年11月15日（金） 18：30～20：30 ② 11月16日（土） 10：30～12：00		
会 場	①プラザ萬象 大ホール ②敦賀市立図書館 3階 研修室	来場者数	①21名 ②14名
役割分担	それぞれの出席議員を含め、別紙1参照		

今年度は、広く市民の方に参加していただけるよう、日時をかえて2回開催した。

意見交換については、「みんなで考える敦賀の防災」を主テーマに実施。

1 開催状況

（1）令和6年11月15日（金）プラザ萬象大ホール

1）報告に関する質問・意見及びその回答

質問なし

2）意見交換

2グループに分かれて実施。

<グループ1>

意見1：豪雨時に地域で会館等を避難用に関けるよう言われるが、地域にて開けなければいけないのか。

意見2：長期の避難生活になった際に避難できるようホテルなどと事前に協力体制を構築しておけないか。

意見3：防災訓練では市の職員のサポートがあったが、市の職員は避難所などに本当に駆けつけられるとは思えない。

意見4：インフラなどを整え、行きたくなるような避難所にして欲しい。
環境を良くすべく、エアコンの設置を調査していたり、設備の更新は行われている。

意見5：最新の防災設備をもっと研究、導入してほしい。

意見6：避難のマニュアルを災害の種類、レベルなどに合わせて対応できるよう改善してほしい。

意見7：防災教室等に参加すると、若者の参加が乏しいが、そういった人にも参加してもらえるよう努めるべき。

意見8：広報にもっと力を入れるべき

意見 9：原子力防災の避難先である生駒市に他の災害でも避難できるようにはできないのか。難しいだろう。

意見 10：防災士を取得して以降、更新がない。防災士との連携を強くできないか。

意見 11：避難所が遠く、いざという時に行けると思えない。

<グループ 2>

意見 12：災害があった時どうしていいかわからない。避難所での生活が心配で避難できない

意見 13：避難所運営ゲーム（HUG）を学校や公民館などでしてみるといい。

意見 14：BCPを作っても実際活用できるのか。防災のことを考え意見を言いながら作るほうがよいのではないか。

意見 15：障害者・外国人に向けての防災を考えてほしい。

意見 16：防災ラジオについて去年調査をすると言っていたが結果を教えてもらえず、結果がどうだったかわからない。

意見 17：防災ラジオを放送してもらっても届かない所がある、市営住宅は恐らく入らない。

意見 18：防災ラジオがあるのに入らないではなくしっかり活用していただきたい。

意見 19：11月でも暖かく線状降水帯で雨が多くなると土砂が心配。

意見 20：水道管が壊れた時工事まで1か月かかり、三島橋の工事が止まっているのは地域の人が反対しているのかそれとも人手不足なのか。人手不足だとしたら災害が起きた時大丈夫なのか。

意見 21：災害の時、障害者の人が避難できるような情報手段はどうなっているのか。

(2) 令和6年11月16日(土) 敦賀市立図書館3階 研修室

1) 報告に関する質問・意見及びその回答

質問1: 議員から提案した政策に予算がついて実現したことはあるのか。あるなら例を挙げて欲しい。

回答1: 議員は条例等は制定できるが予算権は持たない一般質問を通して提案することはできるが、そこは行政側の判断も入るので純粋に議員が提案したからか区別することは難しい。ただ子供医療費の無償化等議員が提案して政策が実現した例もある。

質問2: ふるさと納税の納付額の内訳について知りたい。

回答2: 納付額のうち30%が返礼品の購入代金、20%がホームページ等の様々な委託料となり、残りの50%を基金に納入し、2年後に使用する形になっている。

質問3: こどもの国のリニューアルとあるが年間の利用率はどれくらいになるのか。

回答3: この場で数字をお答えできないが、9月定例会で各施設の利用状況については説明を受けている。ただ公共施設の場合、利用率の多い少ないでは施設の在り方についての判断は難しい。

質問4: タブレットを導入するとのことだが、iPadを選定した理由は何か、ペーパーレス化のみをメリットとして捉えてないか、またタブレットに必要な設備の導入も同時に行うのか、最後に資料を2つ以上同時に閲覧しにくいがどう対応するのか。

回答4: iPadについては先進事例での導入実績や信頼性を考慮して導入を決定した。ペーパーレス化については、紙が減るのは確実であり、それに伴う印刷や配布等の職員の負担も軽減することができる。必要な設備についても今後順次導入を進めていく。同時閲覧については、タブレットのほかに私物のノートパソコンを持ち込んで対応していく事例もあるので柔軟に対応していきたい。

2) 意見交換

参加人数が少なかったため、グループには分かれず全体で実施。

意見1: 東日本大震災の福島原子力発電所事故時に安定ヨウ素剤を飲まなかった子供が現在癌を発症している事例がありNHKでも特集されていた。自治体が情報発信していなかったことやそもそも安定ヨウ素剤を配布していなかったことが原因とされる。敦賀市も全域に安定ヨウ素剤を配布した方が良いのではないか。それが難しいのであれば教育施設だけでも配布した方が良いのではないか。

意見2: 防災訓練が現実在即した訓練になっていないように感じる。

意見 3：外国人労働者の居住地を市が把握していない。先日どの地区にどれくらい外国人労働者が住んでいるか市に尋ねたが、人口分布からの推定でしか回答がなかった。災害等有事に行方不明になる可能性があるのでは把握しておきたい。

意見 4：災害等の避難時に弱者を安全な場所にどのように移動させれば良いかが大きな課題であるとする。避難経路を作っていない町内もありそのような自治会には行政から指導して欲しい。

意見 5：市民の要望を拾って欲しい。

質問 1：子供食堂と防災をどう結びつけられれば良いか。議員各員の意見を伺いたい。

回答 1：災害時に助けあえる人間関係を構築できる場所、子供に災害について考えてもらう場所、また有事の際は食料供給の場所としての役割を期待されていると考える。

2 アンケート結果
別紙 2 のとおり。

3 事前にいただいた意見（メール）
別紙 3 のとおり。

以 上

敦賀市議会議長 中 野 史 生 殿

令和 7 年 2 月 1 2 日

敦賀市議会報告会実施要綱第 1 0 条第 1 項の規定により提出します。

代表者 広報広聴委員長 川 端 耕 一